

別紙

I．事業評価総括表

(単位：円)

番号	措 置 名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補 修又は維持運営等措置	あさひパークゴルフ場整備事業	士別市	4,950,000	4,950,000	総事業費 4,990,700

Ⅱ. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名		交付金事業の名称						
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置		あさひパークゴルフ場整備事業						
交付金事業者名又は間接交付金事業者名			士別市						
交付金事業実施場所			士別市朝日町						
交付金事業の概要			購入後15年を経過した士別市あさひパークゴルフ場作業機（スポーツトラクタ・乗用3連リールモア）が、経年劣化し、芝刈り等の作業に支障をきたしているため、更新に要する費用の一部に交付金を充当します。						
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標			交付金事業に関係する主要政策・施策 士別市まちづくり総合計画【地区別計画】（平成30年度～令和7年度） お互いの顔の見える地域だからこそ、細やかなコミュニティを形成する地域づくりをめざすとともに、少子高齢化に伴う、次世代の担い手の育成を進めます。また、合宿、観光などによる交流人口の増加をめざすため地域で心のこもった“おもてなし”（ホスピタリティ）に努めます。 (4) 地域づくりの取り組み ①「現有施設の有効活用」 サンライズホールや各種スポーツ施設などの公共施設を多く有しているため、施設の利用促進と有効活用をするなかから、さらなる地域コミュニティを醸成します。 目標：あさひパークゴルフ場利用者数 4,500人（令和5年度）						
事業開始年度			令和4年度		事業終了（予定）年度	令和4年度			
事業期間の設定理由									
交付金事業の成果目標及び成果実績			成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和5年度	
			あさひパークゴルフ場利用者数 4,500人	あさひパークゴルフ場利用者数（人）	成果実績	人			
					目標値	人		4,500	
					達成度	%		0.0	
			評価年度の設定理由						
			利用者の増加が見込まれる次年度に評価するため。						
			交付金事業の定性的な成果及び評価等						
			本交付金を活用し、経年劣化が進行している士別市あさひパークゴルフ場作業機（スポーツトラクタ・乗用3連リールモア）の更新を行い、芝刈り等の作業の効率化や芝管理の適正化が図られました。 引き続き、適切な運営を続け、安定的な利用者数の確保に努めるほか、利用者の利便性の向上、円滑な施設運営に努めていきます。						
			評価に係る第三者機関等の活用の有無						
			無						
交付金事業の活動指標及び活動実績			活動指標			単位	令和4年度	令和 年度	令和 年度
			スポーツトラクタ及び乗用3連リールモアの更新台数（台）	活動実績	台	2			
				活動見込	台	2			
				達成度	%	100.0%	0.0%	0.0%	
交付金事業の総事業費等			令和4年度		令和 年度		令和 年度		備 考
総事業費			4,990,700						
交付金充当額			4,950,000						
うち文部科学省分									
うち経済産業省分			4,950,000						
交付金事業の契約の概要									
契約の目的			契約の方法		契約の相手方		契約金額		
物品購入			指名競争入札		ヤンマーアグリジャパン株式会社士別支店（士別市）		4,990,700		
交付金事業の担当課室			士別市市民自治部朝日支所地域住民課						
交付金事業の評価課室			士別市教育委員会生涯学習部地域教育課						

別紙

交付金事業の成果目標及び成果実績に係る報告書

措置名	交付金事業の名称
公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	あさひパークゴルフ場整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名	士別市
交付金事業の成果目標	あさひパークゴルフ場利用者数 4,500人
交付金事業の成果指標	あさひパークゴルフ場利用者数（人）
評価年度	令和5年度
成果実績	5,336
目標値	4,500
達成度（％）	118.6%
評価年度の設定期限	利用者の増加が見込まれる次年度に評価するため。
交付金事業の定性的な成果及び評価等	本交付金を活用し、経年劣化が進行している士別市あさひパークゴルフ場作業機（スポーツトラクタ・乗用3連リールモア）の更新を行い、芝刈り等の作業の効率化や芝管理の適正化が図られました。 引き続き、適切な運営を続け、安定的な利用者数の確保に努めるほか、利用者の利便性の向上、円滑な施設運営に努めていきます。
評価に係る第三者機関等の活用の有無	無

（備考）事業ごとに作成すること。
（注）用紙の大きさは、日本産業規格に定めるA4とし、横位置とすること。